

FDG-PET検査依頼に関する注意事項（医療機関様向け） ①

社会医療法人財団 大和会 武蔵村山病院

以下の注意事項をよくお読みの上、お申込み下さい。

1. 保険適用の判断について

保険適用疾患(2018年改定)

- **悪性腫瘍(早期胃癌を除く)・悪性リンパ腫**
 - 他の検査、画像診断により、病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者
- **てんかん**：難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者
- **心サルコイドーシス**：心サルコイドーシスで炎症部位の診断が必要とされる患者
- **血管炎**：高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者

* 虚血性心疾患に対する心臓のPET検査は当院では行っておりません。

FDG-PET検査の保険適用は「保険適用の要件」に該当する必要があります。適用は上記患者に限定されています。

- (1)原則として悪性腫瘍・悪性リンパ腫の診断が確定していること(※)が望まれます。
- (2)既往歴が無く、腫瘍マーカー高値のみでは保険適用となりません。
- (3)治療効果判定を目的とした場合でも、画像診断や他の検査をして「保険適用の要件」を満たす必要があります。
- (4)同一月内にガリウムシンチグラフィが行われている場合、PET検査は保険適用となりません。
- (5)保険適用とならない場合、自費扱いでの診療となり患者負担は【93,150円(税込)】となります。
保険適用となる場合、患者の負担割合にもよりますが【1万円～3万円】前後となります。

(平成26年4月現在)

※ 良悪性鑑別目的について、病理により確定診断が得られない又は医学的な理由(生検リスクが高い等)によって病理診断が困難な場合については従前の通り利用できます。
膵癌は上記の要件に加えて同様に腫瘍形成性膵炎との鑑別目的で利用可能です。
なお、単なる疑いのみ(他の検査と画像診断を行わない場合や腫瘍マーカー高値のみ)では保険適用不可となります。

上記の注意事項をご確認の上、

・ご質問のある場合は、画像診断・PETセンターまでお問合せ下さい。

2. PET検査の被ばくについて

FDGに含まれる放射性核種F-18の半減期は110分と短く、患者さまご本人の被ばく線量は胃透視撮影1回分以下です。しかし、F-18の放射線のエネルギーが非常に高いため、医療従事者や家族、介護者の被ばくについても留意する必要があります。PET検査を受診される患者さまは介助を要しないことが原則となりますが、必要な場合は個別に検討させていただきますのであらかじめご相談下さい。

介助しながらの検査を希望される場合は、介護者(家族など)の被ばく(胸部X線撮影1回分以下)につきましても、予め介護者から了承を得て下さい。また、検査後の退出時の付き添い者、車椅子運搬者の被ばくについてもご留意下さい。なお、検査後2時間程度は妊産婦や乳幼児との接触をできるだけ控えるようにご指導下さい。

3. 禁忌事項

妊婦、授乳中の女性は原則として受けることができません。

植込み型除細動器(ICD)が体内に入っている方は、受けることができません。

4. 検査に関する注意事項

検査前には下記の事項を守って頂くよう患者さまにご指導下さい。

* 心サルコイドーシスは別に注意事項がございますのでお問い合わせください*

(1) 飲食物について

・血糖値は検査結果に大きく影響します。検査5時間前までにお食事、点滴は中止するようにご指導下さい。

・糖分を含まないお飲物(水、お茶、白湯)は、いつでもご自由におとり下さい。

(2) 頭部と体幹部の同時検査は原則として行っておりません。必要な場合は画像診断・PETセンターまでご相談下さい。

(3) 内服薬等について

・心臓病や高血圧等の内服薬は通常通り内服して下さい。

・糖尿病の血糖降下薬およびインスリン注射の検査当日の使用は原則として中止となります。前日インスリン注射を行っている患者さまは念の為に砂糖をご持参頂きますようご指導下さい。

(4) 諸注意

・検査前日および当日は、激しい運動を避けて下さい。

・検査時間には余裕を持ってお越し下さい。

・予約時間に間に合わない場合、または当日来院できない場合は、わかり次第、当院までご連絡下さい。

・当日は検査機器等のトラブル等で検査時間が延びたり、検査が行えない場合もありますのでご了承ください。

・検査終了後2時間程度は妊産婦や乳幼児との接触をできるだけ控えるようにご指導下さい。

■お問合せ先(予約申込み先と同じ)